

## 環境ソリューション

環境負荷低減と経済価値向上の両立に向けた環境経営を支援する多様な環境ソリューションを開発・提供しています。

### 環境ソリューションの基本的な考え方

企業の環境への取り組みは、現場での環境負荷低減活動や法規制をはじめとしたリスク対応だけでなく、経営戦略と一致させた環境活動の実践を通じて、企業の成長に結びつけていく「環境経営」としていくことが必要です。

富士通では、環境負荷低減と経済価値向上を両立させる「環境貢献ソリューション」と「環境経営ソリューション」を提供することで、お客様の環境経営の継続的な高度化を支援します。

### 環境貢献ソリューションの提供

富士通グループでは、ソフトウェアやITサービス・ソリューションの活用による環境負荷低減効果を環境影響評価の手法を用いて定量評価し、それらITソリューション商品の導入を通じてお客様の環境負荷低減に貢献する環境貢献ソリューションを開発・提供しています。2008年度末までに累計160商品を認定（2008年度で55件の増加）し、さまざまな業務・業種分野のお客様に提供しています。

また、2007年度からは、定性評価による環境アセスメント「環境配慮ソリューション登録制度」を導入。従来のビジネス分野にとどまらず、社内向けの効率化ツールなども対象とし、全社員が取り組める社内登録制度として、206案件を登録しています。

さらに、環境貢献ソリューション・環境配慮ソリューションとして提供するソフトウェア・ITサービスの事業領域については、パッケージ（第4期に全領域達成済）からSI・アウトソーシングへと拡大し、すべてのビジネス分野に展開しています。

第5期環境行動計画の2008年度の単年度目標では「SI・アウトソーシング領域での環境ソリューションの認定・登録分野を28分野に拡大」に取り組んだ結果、全分野にあたる28分野に拡大・達成することができました。

2009年度は、各分野における深掘りをめざします。

 環境貢献ソリューション認定商品一覧  
<http://jp.fujitsu.com/solutions/eco/contribution/list/>

### 環境影響評価の手法

富士通グループでは、(株)富士通研究所が開発した手法を用いて、ITソリューション商品の導入によってお客様の環境負荷がどれだけ低減されるかを以下の観点から定量的に評価しています（P10参照）。

- ITソリューションの潜在的な省エネ・省資源効果に、業務効率化などの効率化効果を含めて、ITソリューションの導入による環境貢献効果を評価します。
- 環境負荷増加要因と環境負荷削減要因の両面から評価し、総合的な環境貢献効果を明示します。
- 環境負荷をCO<sub>2</sub>排出量に換算して評価します。

### 導入事例① 中野区様

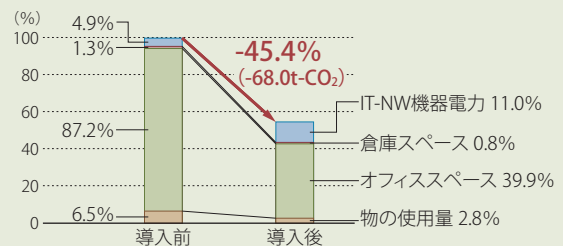
先進的な電子自治体の一つである中野区様では、区役所に「IPKNOWLEDGE 内部情報システム」を導入し、業務効率化と環境負荷低減を図っています。環境負荷低減を試算したところ、システム導入によってCO<sub>2</sub>排出量が45.4%削減するという結果が算出されました。



中野区役所

中野区様では、この取り組みを「区役所内部情報業務におけるITソリューションの導入事例」として、総務省研究会の「ICT（情報通信技術）による環境負荷低減事例」に応募し、2007年4月、研究会報告書に掲載されました。

### 導入前後のCO<sub>2</sub>排出量比較



 中野区様 概要  
<http://www.city.tokyo-nakano.lg.jp/>

### 環境経営ソリューションの提供

富士通グループの豊富なコンサルティング実績や環境ソリューションの導入実績、長年にわたる社内の環境活動実践ノウハウをベースとした、環境経営ソリューションを提供しています。

グループ会社の(株)富士通総研が新たに開発した「環境経営フレームワーク」を用いて、富士通グループのノウハウと実績を凝縮して独自開発した評価項目に基づき、お客様

の環境活動を経営の視点から評価します。その結果から課題を「見える化」するとともに、解決に向けて、富士通の多様なITソリューションを活用した戦略的・効率的な方策を提案しています。

### 環境経営評価・改善コンサルティング

環境経営フレームワークを用いてお客様の環境活動を統合的に評価し、改善提案を行うコンサルティングサービスです。

環境経営フレームワークの6つの構成要素、約100の評価項目に沿って、法規制などによる要求、業界の標準レベル、経営への経済的インパクト、社内実施レベルの統一性などの視点から評価します。さらに、評価結果に基づき、経営の視点から改善についてのコンサルティングを実施します。

### 環境保全活動評価・改善コンサルティング

環境経営フレームワークの構成要素のうち、環境保全活動に特化したコンサルティングサービスです。

お客様の取り組むべき環境保全活動を業務プロセスのフェーズごとに網羅的に洗い出したうえで、現状の活動の効率性や確実性などを評価し、課題解決に向けたソリューションを提案します。

### 環境業務ソリューション

富士通グループ内の環境活動のなかで培ったノウハウをリファレンスモデルとして、お客様の環境にかかわる業務を、33種類のITソリューションで支援します。

### ● 環境業務ソリューションの例

- 環境経営情報システム[SLIMOFFICE EX]
- 製品含有化学物質管理ソリューション[PLEMIA/ECODUCE]

### 導入事例② TOYOTA Motor Corporation Australia様

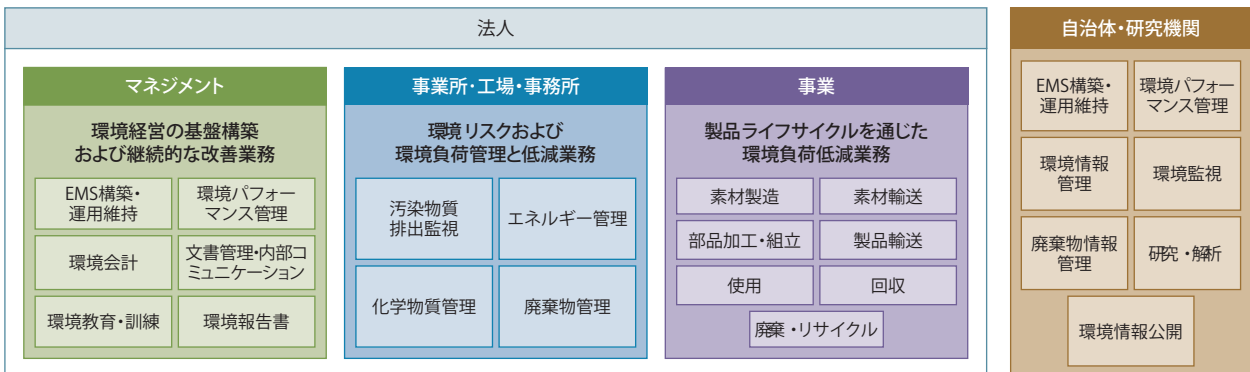
TOYOTA Motor Corporation Australia(トヨタオーストラリア)様は、2005年に5カ年の環境活動改善プログラムを実行し、2007年にはアニュアル環境報告書を発表しました。こうした取り組みのなかで、環境目標を達成するためにグリーンITの推進に取り組むことを決定されました。

Fujitsu Australia Ltd.(FAL)は、独自に開発したサステナビリティとグリーンITに関する100以上の質問・評価項目と、複数のインタビューを通じて、お客様のIT推進室および会社方針に合致したソリューションを提供しました。同時に、インフラの最適化、エネルギー使用量の最小化、IT機器のライフサイクルマネジメントの実施といったグリーンITビジョン達成のための提案も行いました。こうした提案を通じて、キーパフォーマンスインディケータの設定による継続した環境貢献量の見える化、サプライヤー・パートナーへの環境視点の取り組みなどが実施されています。

FALは環境コンサルティングサービスにおいて、トヨタオーストラリア様へ温室効果ガス排出量を43%削減する施策を提案しました。この提案を受け、トヨタオーストラリア様では43%削減をめざすプログラムを半ばまで終え、現在も実施継続中です。FALは今後も継続してお客様の環境負荷低減、低炭素で豊かな社会の実現に貢献していきます。

またFALは、富士通グループとして最良のソリューションをグローバルに提供するために、日本で環境コンサルティングサービスを開始する(株)富士通総研や富士通との協働を開始しました。

### 環境業務ソリューションの枠組みと構成



お客様とともに

社員とともに

株主・投資家のために

お取引先とともに

国際社会・地域社会とともに

地球環境のために